

地震について考えた 2024

突然ですが、皆さん 2024 年のニュースといえば、何を思い浮かべますか？

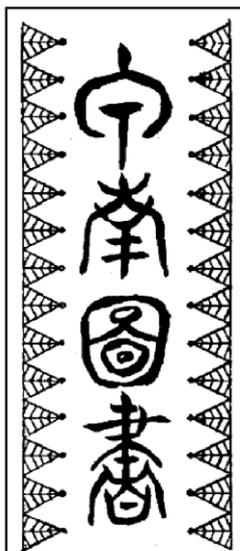
2024 年、お正月をのんびりと過ごしていたなか、突如として起きた能登半島地震、「奇跡」の脱出の羽田空港地上衝突事故、オリンピックや新紙幣の発行、ドジャースへ入団した大谷翔平選手によるメジャーリーグ史上初の 50-50、大荒れの衆議院議員選挙など多くのニュースが報道され、とてもこの 1 年の間に起きたとは信じがたいほどの様々な出来事があり、まるで 3 年分の時間を過ごしたような一年でした。

その中でも多くの人々が最も翻弄されたと思われる「地震」について、触れてみたいと思います。年始早々に起こった能登半島地震。家族と一緒にお正月の特番を見ていると、突然緊急地震速報が流れ、強い恐怖心を抱いたのを覚えています。数十秒後に私の家もゆっくりと揺れ始め、揺れが収まった後にテレビをつけると、そこには街に設置された定点カメラが大きく揺れ続け、ヘルメットを付けたアナウンサーの方が必死に声をあげていました。数十分後には「津波、今すぐ逃げて！」というテロップが大きな文字で書かれていました。そのすさまじい揺れをリアルに体験していなくとも、画面越しで見ているだけでパニックになるほどの恐ろしい光景が映っていました。2024 年 1 月 1 日 16 時 10 分ごろに起こったこの地震は最大震度 7、マグニチュード 7.6 を観測した大地震で、阪神淡路大震災に匹敵する規模でした。

この日以降も余震が多かったうえに、液状化や斜面の崩落による住宅の被害、夏には何度も台風に見舞われたこともあり、街の復興が困難であるという現実があります。

私は能登半島地震を受けて、世間やメディアでも地震に対する危機感や緊張感が今まで以上に強くなった印象を抱きました。実際、この地震と 8 月の『南海トラフ地震臨時情報』の発表が重なったこともあり、これまで以上に地震対策を徹底する家庭が増加したようです。私の家でも防災リュックを用意したり、避難場所を家族と再確認しあったりしました。また、私は地震にまつわる情報をもっと知っておきたいと思い、さまざまな文献を読むことにしました。

私たち人間は地震という自然現象を止めることも予測することもできません。しかし、それらに備えておくことはできます。南海トラフ地震はそう遠くない未来です。この 2024 年があったからこそ、この館報を読んでくださったみなさんに地震について今一度考えていただけるきっかけになれば幸いです。



甲南女子中学高等学校

図書委員会編集

図書館発行

神戸市東灘区森北町 5-6-1

電話 078-411-2531

目次

- P1 地震について考えた
2024
- P2 地震にまつわる本
- P3~5
先生方からのおすすめ
の本
- P6~7
映画化・ドラマ化した
小説
- P8 図書委員の仕事
編集後記

地震にまつわる本

『地震はなぜ起きる？』

著:鎌田浩毅 出版:岩波ジュニアスタートブックス



ここ数年間で日本は地震が頻発しています。しかし、その理由は何なのでしょう
か？

本書では地震の起こるしくみや歴史的な巨大地震、今後予想される地震や必要な
備えについてのことが丁寧に分かりやすく説明されています。

地震や地学について知らない人も入門書としてチャレンジすることができ、大人
の方でも読み応えのある一冊です。

『おうち避難のためのマンガ防災図鑑』

著:草野かおる 出版:飛鳥新社



皆さんのご家庭ではどんな防災対策を行なっていますか？万全に準備できている
ところもあれば具体的に何をすればいいのかわからないところもあるかと思ひます。

この本を読むと、地震だけではなく、台風などの災害時に起こる停電や断水、
トイレ問題などの状況で役立つ防災ノウハウを網羅することができます。その他
にも、スーパーマーケットや 100 円ショップで手に入る身近なアイテムを使った
防災アイデアを学ぶことができます。

私も実際にこの本を読み、家族と共に防災対策を考え直すきっかけとなりました。
インターネットで防災対策をみても、情報が多すぎて何から始めればいいのか
分からない人や、文章ばかりの防災マニュアルは少し読みづらいという人にも、
強くオススメしたい一冊です。

『災害から家族と自分を守る「災害心理」の基礎知識』 著:野上達也 出版:セルバ出版



皆さんは自分が大災害に巻き込まれた後、どのような心理状態に陥ると思いま
すか？

また、災害が起こる前と後では心理傾向が大きく異なっていることを知ってい
ますか？

皆さんの多くは、テレビなどの取材で被災された方が「まさか自分が被害に遭
うとは思わなかった」と答えているのを見聞きしたことがあると思います。これ
は、自分への良い出来事の発生確率を過大評価する一方で、悪い出来事の発生確
率を過小評価する傾向「楽観主義バイアス」が影響しています。この本は災害心
理学に基づいた、人々が被災した際の行動についての理解を深めることができ、
実際に自分が被災もしくは救助する側になったときにも役立つ内容が盛りだく
さんです。一読すれば、災害時でもあなたの心の安心材料になるかと思ひます。

先生方からのおすすめの本

新しく着任された米田明美校長先生、そして 2024 年度の各学年団の先生方から、皆さんにおすすめしたい本を紹介して頂きました。皆さんの知っている先生はいましたか？ それぞれの先生方がおすすめする本に興味を持ち、皆さんが読んだことのないジャンルの本に挑戦してみるきっかけになれば嬉しいです。



米田明美 校長先生

『クスノキの番人』 『クスノキの女神』 著:東野圭吾 出版:実業之日本社



この本は昨年冬、たまたま時間つぶしで入った書店で見つけました。2冊並んでいたのに東野圭吾の本ならハズレなしと思いましたが、2冊とも買って面白くなかったら…と思い、1冊目の『クスノキの番人』だけを購入しました。私は面白い本に出会うと、食事や睡眠も忘れて読書に熱中してしまうタイプです。

やはり（沼に）ハマってしまいました。その夜のうちに読んでしまい、あの時もう1冊も購入しておけばよかったと、深く後悔！！どうしても第2弾『クスノキの女神』が読みたくてたまらず、こちらはネットで購入しました。



クスノキ（楠・樟）には、いろいろ思い出があります。家の近くの神社にクスノキの大木があり、鎮守の杜の中心となる木々として、境内に風格を醸し出していました。クスノキは、4月ごろに落葉するのですがすぐに新芽がでますので、1年中その大きな枝には緑色の葉を茂らせており、800年から1000年を越える大木もあるそうです。

この小説に登場するクスノキは、「直径が五メートルはあろうかと思われる巨木で、高さも十メートル以上もある。何本もの太い枝がうねりながら丈夫に伸びている様子は、大蛇が絡みあっているようだ…。その幹の内側には洞窟のような空間があり、広さは三畳間ほどもある。」と、大木というより巨木ですね。

罪を犯して刑務所行となるはずだった主人公玲斗は、生まれて初めて出会う叔母だという女性に救われます。その女性は、玲斗の弁護士費用を肩代わりする代わりに、クスノキの番人になることを持ちかけます。そしてそれは柳澤家が代々の生業（なりわい）として行ってきた仕事で、玲斗は実は柳澤家の一員だということです。そのクスノキは不思議な力を持ち、様々な人々がそのクスノキに祈念するためにやってきます。クスノキの力は未来への予知なのでしょうか、それとも過去の思い出を蘇らせてくれるのでしょうか。読み終わると、皆さんもクスノキを探したくなると思います。校内ではまだ見つけていないのですが、あればどこに生えているのか教えて下さい。



中村 伴彰 先生 (77 回生)

『林修の仕事言論 壁を破る 37 の方法』

著:林 修 出版:青春出版社

この本は、予備校講師で、メディアでも大活躍している著者が仕事観についてまとめたものである。

序章に記載されている『人生問題は、職業問題である』（清水幾太郎）という言葉に対して、皆さんはどう思うだろうか？

「仕事・職業」に対してイメージが湧いている人は、多くはないと思う。しかし、いつかは仕事をする場面が出てくる。

この本を読み、著者の仕事観を知ること、自分自身の仕事観を見つめることにつながり、「仕事・職業」に対して、深く考えるきっかけになるだろう。

また、著者が予備校講師として受験生をどのように見ているのか、そして受験勉強を通じて何を身につけてほしいのかを知ること、受験勉強に対する考え方をアップデートできるはずである。

第 1 講、第 2 講…と項目が分けられているため、受験勉強の息抜きや、短時間の読書に向いていることも推薦するポイントである。



村田遼平 先生 (78 回生)

『ミニマル料理「和」』

著:稲田俊輔

出版:柴田書店



2023 年に出版された『ミニマル料理』という本の 2 冊目です。簡単に言うとレシピ本なのですが、タイトルの通り、料理をできる限りミニマル（最小限）の材料と手間で作るということを意識して作られたレシピ本です。ただ、それでいてしっかりと美味しいのがこの本の素晴らしいところで、何なら多種多様な調味料を使ったり、手間ひまをかけて作った料理よりも美味しかったりします。1 作目では麻婆豆腐やポテトサラダ、パスタが扱われていたのですが、今作ではタイトル通り「和」に特化しており親子丼、酢の物、鍋など日常に取り入れやすいメニューが多いです。

例えば親子丼に必要な食材なら「鶏もも肉、濃口醤油、みりん、砂糖、水、卵、三つ葉、ご飯」だけです。出汁すら使いません。何なら三つ葉は無しでも大丈夫です。これだけで美味しいお蕎麦屋さんのような親子丼が出来上がります。Uber 頼むより圧倒的に安くて、鶏肉・卵さえあればコンビニ行くより早くて楽に出来上がりが食べられます。

そしてこの本が良いと思う最大の理由は、自分のオリジナルレシピを作ることができるという点です。まずは本書の指示通りに作ってみて、その次からは自分の好みに合わせて甘味を足してみたり、塩味を足してみたりすると自分の理想の味付けで作ることができます。限界まで引き算をしてくれているので、あとは自分の欲しいものを加えていくだけです。村田だったら上の親子丼は、濃口醤油を薄口醤油に代えて、砂糖は入れないです。後は刻み海苔と七味をかけて、何ならご飯もなしで。



藤原惇志 先生 (79 回生)

『わかったつもり 読解力がつかない本当の原因』

著:西林克彦 出版:光文社



この本は、文や文章をより深く読むための最も大きな障害となりうる「わかったつもり」という状態について紹介しています。

「読む」という活動が日常生活で大きな割合を占めているため、その際に必要とされる読解力を身につける・高めることはとても重要です。

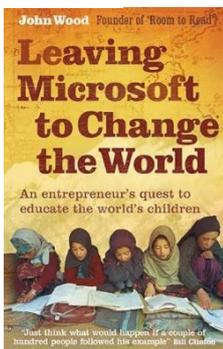
文章をよりよく読むための、つまり「わかったつもり」の状態を打ち破るためのヒントが書かれていますので、本を読むことが苦手だという人にも、もっと深い読みというものを体験したいという人にもおすすめです。



森田剛志 先生(80 回生)

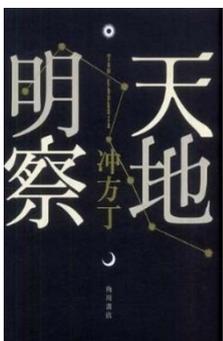
『Leaving Microsoft to Change the World』

著:John Wood 出版:HarperCollins Business



マイクロソフト社の重役だった主人公がネパールの学校を訪れたことで大きく人生が変わります。子どもたちの人生を豊かにするために全身全霊で取り組む感動の実話です。

過去に生徒に勧めて好評だった一冊です。英語ではありますが、ぜひ挑戦してみてください。



中田雅己 先生(81 回生)

『天地明察』

著:沖方丁 出版:角川文庫

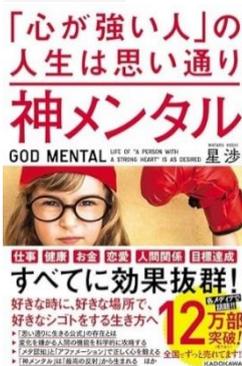
2010 年本屋大賞受賞。映画にもコミックにもなりました。江戸時代、幕府の碁打だった 1 人の武士が、日本独自の暦をつくりあげることに…。主人公のキャラクターが親しみやすく、背景の天文学や数字にも興味深い。「知」によって自らの夢を追うドラマ。時代は違っても、たくさんのことを私たちに気づかせてくれる物語です。



赤木恭輔 先生(82 回生)

『神メンタル「心が強い人」の人生は思い通り』

著:星渉 出版:KADOKAWA



本を読むのが苦手な人でも読みやすいのでおすすめです。

勉強・部活・仕事・人間関係などいろいろな場面で活かせるようなことが書かれています。私自身、学生時代にメンタルをひたすら鍛えられてきましたが、この本には根性論のようなことが書かれているわけではなく、科学的な根拠から説明されているので単純に読んでいて楽しいと感じました。

映画化・ドラマ化した小説

『収容所(ラーゲリ)から来た遺書』

著: 辺見じゅん 出版: 文春文庫



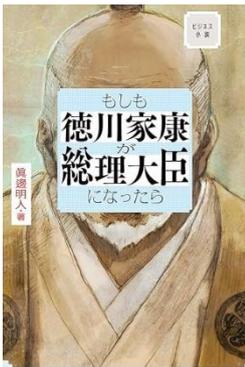
敗戦から 12 年。シベリアの強制収容所での抑留中に亡くなった一人の男・山本播男の遺族が手にした 6 通の遺書が届きました。その遺書は、山本と同じ抑留された仲間たちの驚くべき方法によって届けられたものでした。

無事に明日が来る保証もない絶望的な収容所生活の中で、山本の作る「俳句の会」を通して仲間に笑顔をもたらす、心の拠り所となる。

生きて必ず帰国するという希望を最後まで失わなかった彼らの姿を描いたノンフィクション作品です。(2022/12/9 公開 映画「ラーゲリより愛を込めて」)

『もしも徳川家康が総理大臣になったら』

著: 眞邊明人 出版: サンマーク出版



舞台は 2020 年、コロナウイルスにより日常生活が一変した日本。国内どころか世界中が大混乱に陥る中、首相官邸でクラスターが発生。あろうことか総理大臣が急死します。そこで政府が打ち出した最終手段、それは「AI ホログラムで偉人たちを復活させ、最強内閣を作る」という前代未聞の計画でした。

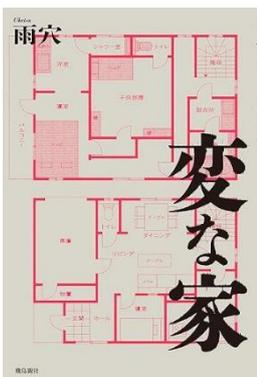
豊臣秀吉、紫式部、聖徳太子…。名だたる偉人たちが官僚となった内閣。果たして日本の行方はどうなるのでしょうか？！

歴史上の偉人とコロナウイルスの異色の組み合わせから繰り広げられる奇想天外なストーリーに引き込まれます。ミステリーやサスペンスが好きな方にもおすすめの一冊です。ビジネス小説としては異例の大ヒットとなり、まさかの映画化となりました。

(2024/7/26 公開 映画「もしも徳川家康が総理大臣になったら」)

『変な家』

著: 雨穴 出版: 飛鳥新社



オカルト専門の YouTuber(雨宮)はミステリー愛好家の変人設計士(栗原)に、一軒家の間取りの不可解な点についての意見を請います。その間取りに隠された奇妙な“違和感”に栗原がある恐ろしい仮説を導き出します。その矢先に世間を騒がせた死体遺棄事件。そしてこの“変な家”に心当たりがあると言う女性(柚希)が現れます。次々に浮上する間取りの謎、事件の深部へと誘われていくスリルな展開に目が離せなくなります。

この作品『変な家』は、総再生回数 1500 万回越えの YouTube 動画をもとにしたミステリー小説で、昨年に映画化したことで話題となりました。

(2024/3/15 公開 映画「変な家」)

『花咲舞が黙ってない』

著:池井戸潤 出版:中公文庫



舞台は東京第一銀行。臨店班に勤める銀行員・花咲舞が、銀行で起こる事件や不祥事に真正面からぶつかっていく痛快ストーリーを描く連作短篇です。

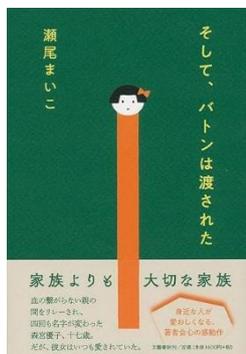
生きていれば、会社に限らず自分が普段置かれている狭いコミュニティの中で理不尽な目に遭っても、それをおかしいと声を上げることができない状況に置かれることは沢山あると思います。

そんな人々にとって、自分は小さな存在でも、己の正義を信じて大企業の闇に力一杯立ち向かい奮闘する花咲の姿は、とても眩しく勇気を与えてくれるでしょう。

当時、杏主演で放送されたドラマが10年ぶりに今田美桜主演で、お茶の間に帰ってきました。(2024/4/13～ ドラマ 「花咲舞が黙ってない」)

『そして、バトンは渡された』

著:瀬尾まいこ 出版:文藝春秋



苗字が4回も変わり、複雑な環境のなかで成長していく優子と最後の親になってくれた森宮さんとの日々、そして時空を超えた優子の幼少期まで描かれる小説です。

優子は珍しい環境で育ったものの、優子の周りに現れるキャラクターは全てユーモアと優しさを兼ね備えた人柄であるからからこそ、誰よりも深い愛情を受けて育ってきたように感じられます。

優子というバトンがずっと大切に渡されてきた家族のあたたかさ、血の繋がりを越えた家族の形に感動する一冊です。(2021/10/29 公開 映画「そして、バトンは渡された」)

『君の膵臓を食べたい』

著:住野よる 出版:双葉社



人との関わりを避ける僕は、膵臓の病気で余命宣告を受けている桜良が、ある一冊の本をきっかけに出会います。性格も物の考え方も正反対な二人ですが、二人の時間を通して次第に心を通わせていきます。

桜良との関わりを重ねるうちに、僕の人生観、人との関わり方が塗り替えられていく様子が繊細に描かれており、一読者として自分自身の考え方も変わっていくのを感じた瞬間がいくつもありました。

やがて桜良は自分の大切さに気づき、僕に「君の膵臓を食べたい」と告白します。

臓器を共有したいと思うほど僕を大切に思う桜良の気持ちに胸が苦しくなりました。

人と関わることと命の尊さを感じる一冊です。

(2018/9/1 公開 映画「君の膵臓を食べたい」)

図書委員の仕事紹介

〈「のほ本」製作〉

皆さんへのオススメの本を紹介する「のほ本」を毎月各学年の図書委員が作成しています。歴代の「のほ本」は図書館で見ることができます。
各学年ごとにオススメする本がそれぞれ異なっていて見応えがあり、読書の幅が広がります。なんと59回生の代からずっと続いているそうです。

〈蔵書点検〉

毎年3月に、図書館に所蔵されている本がすべて揃っているかどうかをチェックする作業です。1冊1冊、本に貼っているバーコードで読み取るため、想像以上に大変な作業でしたが、やり終えた後の達成感は大きいものでした。

〈学校説明会〉

年に数回行われる学校説明会では、図書委員が、来校して下さった小学生の方々と図書にまつわるゲームなどを行います。小学生の方々と交流を深められる楽しさを味わえるだけでなく、甲南女子の図書館に対する、保護者の方々からのお褒めの言葉もたくさん頂き、とても嬉しい仕事でした。

〈BOOK-ON〉

図書委員会では、文化祭で「BOOK-ON」という古本市を開いています。
毎年、在校生の方々から寄付してもらった古本を販売しており、今年の文化祭でも多くの方に足を運んでいただけて本当に嬉しかったです。
「BOOK-ON」では、今では入手しづらい昔の本や様々なジャンルの本が揃っているので、来年も沢山楽しんでいって下さい！

編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

この一年間、図書委員長としていろいろな経験をさせていただき、頼りなかった私も少しは成長できたかと思っています。至らない点多々ありましたが、温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。
図書委員長 松浦蘭子

この一年間、図書副委員長を務めさせていただき、「のほ本」や「館報」作成など、本にまつわる様々な活動ができたことを嬉しく思います。中でも文化祭や学校説明会では、本を通じて沢山の方々と交流を深め、私自身も充実した時間を過ごすことができた最高の思い出です。一人でも多くの方に読書の楽しみを伝えられる手助けができていましたら幸いです。
図書副委員長 田中カエラ

最後まで館報をご覧いただきありがとうございました。

一年間、一緒に活動して下さった図書委員さん、私たちの活動をサポートして下さった司書さんや先生方、本当にありがとうございました。